たけうまファンド

設定日	：2011年11月	償還日	：死ぬまで	決算日	：原則、毎月末
収益分配	：ありません	基準価額	：算出対象外	純資産総額	：非公開

※レポートのグラフ、数値等は過去のものであり将来の運用成果等を約束するものではありません。
※レポートでは公開できない数値等が多数存在するため、目盛り等一部の表示を省略させていただいております。

運用実績

※運用開始時の資産を100としたグラフとなっています。
※グラフの歯抜け期間は当ファンド運用担当者のメンタルが死んでいた期間につき運用実績の記録ありません。

＜資産構成比率＞

日本株式	65.7%
海外株式	24.5%
現金（円・$）	9.8%

※比率は対純資産総額比です。

＜純資産総額騰落の要因分析＞

日本株式	-3.7%
海外株式	+2.5%
現金（円・$）	-6.3%

※上記の要因分析は当月中の売買を考慮せず（できない）、前月末と当月末の時価総額の差を算出してます。
※上記の要因分析は、実際の純資産総額の変動を正確に説明するものではありません。各市場と当ファンドの運用状況の傾向を知るための参考地としてご覧ください。

＜分配金実績＞

設定来
0円

※永遠のゼロ。成長ないので分配なし。

＜純資産総額の騰落率＞

1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	年初来	設定来
-5.0%	5.8%	2.5%	4.1%	5.8%	1526.92%

※証券口座現在の資産残高基準。投資信託、iDeCo、仮想通貨、FX（外貨証拠金取引）は含まず。

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。
■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、今後変わる可能性があります。

たけうまファンド　日本株式／海外株式

＜資産構成比率＞

資産	比率
株式	90.2%
現金	9.8%

＜国・地域別組入比率＞

国・地域名	比率
日本	65.6%
アメリカ	24.5%

＜業種別組入比率＞

業種	比率
資本財・サービス	34.48%
一般消費財・サービス	29.91%
情報技術	9.83%
金融	6.70%

＜組入上位10銘柄＞

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	ウルトラファブリックスHD 4235	日本円	日本	一般消費財・サービス	14.27%
2	ServiceNow, Inc. NOW	米ドル	アメリカ	情報技術	9.83%
3	シンメンテHD 6086	日本円	日本	資本財・サービス	8.75%
4	オカダアイヨン 6294	日本円	日本	資本財・サービス	8.18%
5	Tapestry, Inc. TPR	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	7.98%
6	日揮 1963	日本円	日本	資本財・サービス	7.90%
7	シルバーライフ 9262	日本円	日本	一般消費財・サービス	7.66%
8	MSCI Inc. MSCI	米ドル	アメリカ	金融	6.70%
9	オプテックス 6914	日本円	日本	資本財・サービス	6.52%
10	ベネフィット・ワン 2412	日本円	日本	資本財・サービス	3.14%

＜規模別構成比率＞

時価総額	比率
1兆円以上	27.19%
5000億～1兆円未満	1.65%
1000億～5000億円未満	14.72%
1,000億円未満	56.41%

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。

運　用　実　績

今年に入り当ファンドは比較的良好なパフォーマンスとなっていましたが、3ヶ月目にして市場の調整の直撃を受けて一桁半ばのマイナスとなってしまいました。若干の出金も行ったため計算上のパフォーマンスよりも口座残高は少なくなっています。

ニュースを追う時間も減っているためSVB破綻とそれに続く一連の動きもリアルタイムに把握することができず、全く身動きができませんでした。スタートアップ向けに特化した銀行の破綻でなんで当ファンドのガチドメ銘柄まで影響受けなければならないんだッ！は毎度のことなのでもう文句言っても仕方ありませんね。でも言いたい。ふざけんな！

個別の動きとしてはシルバーライフががっかり決算で大幅に下落しました。1Qからの明らかなトップラインの減速と、この成長速度だと工場稼働でのゲタが剥落する3Q以降はより一層厳しくなるだろうという見通しですね。配達型の冷凍弁当はもっともっと市場規模が拡大していくと思っているので、その速度と同程度で成長していくと期待してまだまだしばらくはホールドする予定です。オカダアイヨンはバリュー好調の恩恵が今月も堅調な値動きでしたね。先月は全体的に振るわなかった飲食流通サービス系である優待株が全般的に上がっていました。そういう流れだったようです。

またSVB破綻で実例として利上げの影響が出てきたこととインフレピークアウトの傾向からの利上げ打ち止め観測で金利低下と円高が進行しておかげでウルトラファブリックスが下落してサービスナウが上昇しました。いつか見た景色だなぁと。ウルトラファブリックスの下落は欧州でのガソリン車販売継続の影響もあるんでしょうかね。現在はラグジュアリー感をウリにしたEVへの採用が続いていますが、ガソリン車であっても自動運転車との親和性は高いからそのあたりが今後も要チェックでしょうか。

肌で感じる景況感は悪くないんですよね。日本人はなんだかんだルールを守る人種だと思うのでマスク自由化が大きかった気がします。3年ぶりの宴会のできる花見の季節でようやく、やっと待ちに待った日常が戻ってきているのを感じます。マスクを外して穏やかな気候の中お花見できるのは自分も素直に楽しい。そうやってみんながお出かけをして街やお店に人が溢れかえっているのに相変わらず飲食店はフル稼働できていないのが目につきます。明らかな人手不足ですね。ここしばらく旅行はできていませんが、おそらくホテルも同じなのではないかなと思います。中国からの入国手続き緩和の影響も4月になって3月の月次が出てくればわかってくるんでしょう。観光地ではとバスを見かけることも増えてきました。年度もかわって人員の採用計画も現在の状況を反映した予算が割り振られてくるだろうと思います。扶養の壁突破しても補助が出るのが確定すれば一気に動くと思うのですが。と思って信用で人材系をひとつずっと持っています。しばらく持つことになるようなら金利もったいないから現引きしてもいいかもしれません。

株式投資は、値動きのある資産（外国株式は為替変動リスクもあります。）に対し投資をするため、資産残高は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。つらい。

■当資料は、当ファンド運用担当者が運用状況を報告する手段としてブログ等の代替として作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来にわたってなんら保証するものではありません。